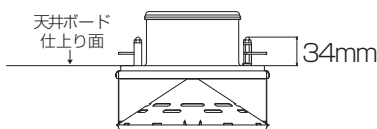


この施工説明書は、軒天井用ベントキャップの施工方法について説明するものです。取付工事を始める前に必ずこの施工説明書をよくお読みになり、正しく安全に取り付けてください。なお、製品の取り扱いについては別紙「取扱説明書」をご参照ください。

施工前のご注意

ダクト材の種類によっては天井ボード仕上り面までダクトを施工されますと、天井取付金具に当たってしまい、本製品が取付られない場合があります。



《天井取付金具高さ》

φ100・150用共通：34mm

《天井取付金具内径》

φ100用：φ105

φ150用：φ155

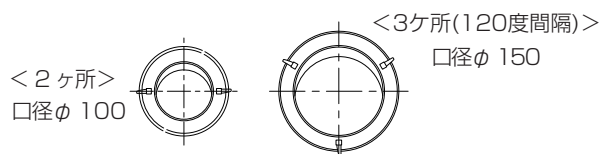
※ご使用になるダクトの外径が天井取付金具内径より大きい場合は、天井取付金具（仕上り面から35mm以上）手前でダクトを止めて下さい



施工上のお願い

本製品の施工の際、天井取付金具（※1）と天井ボードの間に補強として軽鉄や木材等を設置してください。補強がないと、天井ボードの開口端が衝撃などによって損傷し落下する恐れがあります。また、補強材の厚さは天井ボードを含んで17mm以下になるようにしてください。

《※1天井取付金具取付位置》

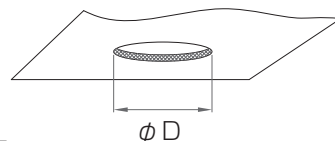


推奨施工方法

1. 天井ボードの取付位置に穴を開けてください。
(取付穴サイズは右表を参照してください)

⚠ 注意

取付穴のサイズを推奨穴径以外で施工すると正常な取付状態が保てなくなります。



《天井ボード取付穴径》

製品呼び径	ボード穴径 (φD)
100	φ125
150	φ175

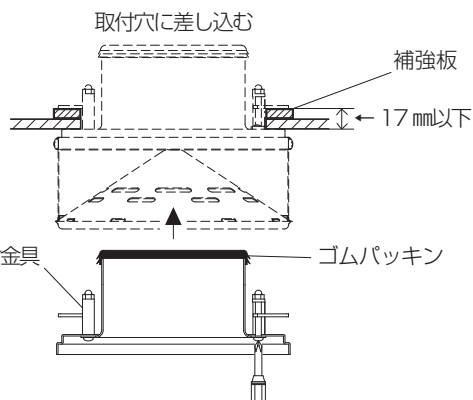
※ボード穴径は「呼び径+25mm」の範囲で開けてください

※他サイズも同様に施工してください

2. 製品本体のフェイス部を取り外し、挟み込み用ビスを締め付けて固定してください。

⚠ 注意

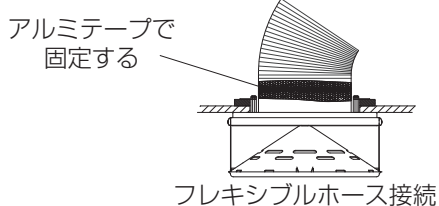
配管内で発生した結露水をフェイス貯水部へ導く様、差込部先端に取付てあるゴムパッキンはねじれ等がないように差し込んでください。
※フレキシブルダクトへ接続の場合は、差込部とダクトの隙間から結露水が流出しない様に施工してください。



3. 製品差込部が天井面に固定されているか確認後、フェイス部を取り付けてください。

確認! 施工後、製品が確実に取り付けられているか必ずご確認ください。

《取付参考図》



差込みの長さを考慮し配管を行ってください

